

『東日本大震災の祈りと鎮魂』 ～過去の事例と集い（イベント）のちから～

○加藤良子(株エンコーポレーション)
師岡文男(上智大学)
奥野 圭(株オリエンタルランド)

1. 目的

2011年3月11日に発生した東日本大震災は20世紀以降日本の地震被害のうち、関東大震災に次ぐ2番目に大きな震災となった。筆者は関東大震災以降の日本の震災にまとをしぼり当時の慰霊祭や鎮魂イベントがどのように行われたかを調査し、東日本大震災の祈りと鎮魂、集いがもたらすイベントのちからを検討する資料を作成することを研究の目的とする。

2. 研究方法

関東大震災以降の死者・行方不明者の多い地震を基準に、当時の慰霊祭や鎮魂イベント、慰霊碑などの記録を国立国会図書館蔵書・電子図書館データベースサイト、日本全国書誌、被災地行政の記録・図書、新聞記事データベースサイトで調査した。調査した資料は、「気象庁 過去の地震・津波被害」、「G-m a 地震研究シリーズ」、「『震災の記憶』の変遷と展示」、「関東大震災画報 写真時報」、「但馬丹後震災画報」、「地震体験・被災経験」、「尾鷲市史 下巻」、「写真集 明治大正昭和 尾鷲」、「東南海地震津波より45年」「懐かしい昭和の記録アーカイブ映像(福井市)」、「読売新聞が見つめた福井50年」、「阪神・淡路大震災―神戸市の記録 1995」、「阪神淡路大震災の研究 III---死者と遺族---」、「現代宗教」、「阪神・淡路大震災まち支援グループ まち・コミュニケーション」およびSNS、Web、などインターネット上の各種データベースサイト情報である。

3. 結果

関東大震災以降、死者・行方不明者数の大きかった地震を発生年の古い順に列挙すると以下の通りである。

- 1923年 9月 1日 関東大震災
- 1927年 3月 7日 北丹後地震
- 1933年 3月 3日 昭和三陸地震
- 1943年 9月 10日 鳥取地震
- 1944年 12月 7日 東南海地震
- 1945年 1月 13日 三河地震
- 1946年 12月 21日 南海地震
- 1948年 6月 28日 福井地震
- 1995年 1月 17日 阪神淡路大震災
- 2011年 3月 11日 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)

死者・行方不明者数の大きかった順位は、1位 関東大震災（大正関東地震）、2位 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震 2011.7.19 現在：警察庁まとめ朝日新聞）、3位 阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）、4位 福井地震、5位 昭和三陸地震、6位 北丹後地震、7位 三河地震、8位 南海地震、9位 東南海地震、10位 鳥取地震である。（気象庁「過去の地震・津波被害」より抜粋）



関東大震災画報より 東京都慰霊堂（横網町公園） 但馬丹後震災 慰霊祭（写真下）

2、3、4、8位は戦後の震災だが2位の東日本大震災を除き、行政主催の鎮魂や慰霊祭の記録は少ない。記憶に新しい阪神・淡路大震災の慰霊祭は1995年2月26日に兵庫県西宮市と芦屋市で行われ、被災地での合同慰霊祭開催は、この両市が初めてであった。四九日をむかえる3月5日に「神戸市合同慰霊祭」・6日「参列者献花」、宝塚市、尼崎市においても合同慰霊祭が行われた。特に1945年以前の震災については災害の規模、被害状況の記録、写真などは気象庁「過去の地震・津波被害」や行政の記録、出版図書に多く残されているが、慰霊祭の記録調査は困難を極める。

東日本大震災発生から四九日、百か日が過ぎている。調査対象の震災時における鎮魂・慰霊祭の記録など結果の詳細および考察、結論は研究大会発表当日に発表する。



「阪神・淡路大震災—神戸市の記録

1995」より抜粋

大槌町東日本大震災犠牲者合同慰霊祭

東松島市の合同慰霊祭